



春本番、4月になりました。

3月は旅立ち・別れの月ですが、4月は出会いと新たなスタートの月です。

あちこちで引越しの荷物を積んだトラックを見かけます。

新入学・就職・転勤…。大きな期待と膨らむ希望。そして少しの不安。



今年の桜の開花は例年より少し早かったようです。ここ数年、桜の開花が早くなり紅葉が遅くなってきているそうです。どうやらこれも温暖化の影響らしいですね。



随分以前に、桜の花びらの色が薄くなってきているという話を聞いたことがあります。これは、排気ガス（大気汚染）の影響だそうです。

身近なところでも目に見える形で様々な変化が起こっています。

一人ひとりが、身の回りのできることから少しずつでも改善していかないといけないと思う今日この頃です。

年度がわり



1年の始まりは1月、年度の始まりは4月。何も考えず当たり前のように過ごしてきました。でも、なぜ二種類の1年があるのでしょうか？そしていつ頃からあるのでしょうか？

個人的に愛読(?)している、かわうそ@暦さんのホームページ「[こよみのページ](#)」に『役所の一年は4月から…会計年度のはなし』というのが載っています。

チョット興味をそそられたので今回はこの話を取り上げたいと思います。

官公庁の会計年度は「4月1日に始まり、翌年3月31日に終るものとする」と財政法や地方自治法に定められています。いつ頃からかというとな明治19年（西暦1886）から始まったのだそうで、それ以前の江戸時代は暦と同じ1月（正月）に始まり12月（師走）に終るものでした。

落語にも『掛け取り』という、大晦日（12月末日）に集金に来る店の主人と、支払いを逃れようとする長屋の住人との攻防の話があります。

いつの時代も大体どこの国でも「その年の払いはその年のうちに」が原則です。

では、どうして二種類の1年を作る必要があったのか。

①税金徴収の都合：秋に収穫した米を現金化してから、税（地租）をお金で徴収するというシステムが4月頃が都合がよい。

②外国との関係：当時世界一の経済力を誇ったイギリスの会計年度に倣って4月にした。

③大きな声では言えない（たぶん）本当の理由：「政府に金が無いから、暦通りの会計ではやりくりがつかなかった」と考えられる。

①では、江戸時代以前も地租が財源だったはずですし、②は、フランスは暦年と一緒にアメリカは10月～9月です。説得力に欠けます。それに、4月～3月に落ち着くまで、明治新政府は何度も会計年度を変更しています。詳しくお知りになりたい方は『こよみのページ』<http://www.koyomi.vis.ne.jp> 又は <http://koyomi8.com/> をご覧下さい。序でに『明治改暦の周辺事情・国家財政の危機?』も合せてお読みになることをお勧めします。

太陰太陽暦から現在の太陽暦に改暦されたエピソードが載っています。

こちらの話は朝日新聞の天声人語にも掲載されていたので、ご存知の方も多いかもかもしれませんが…



「京都カナリヤ会 設立記念講演会」

先日弊社のホームページでもご案内していましたが、去る3月29日（土）京都市中京区の**こどもみらい館**で**京都カナリヤ会設立記念講演会**があり参加してきました。

設立の経緯と名称の由來說明があり、京都府保健福祉部薬務室 川原崎 巧 室長の報告「京都府のシックハウス対策の紹介」に続いて、近畿大学医学部環境医学・行動科学教室 東 賢一 先生による「**化学物質の人体への影響**」と題しての講演がありました。

- 1.生活と化学物質
- 2.人体への影響
- 3.化学物質による健康被害の実態
- 4.相談・医療機関の紹介



と、約2時間お話いただきました。

当日は、50名の定員を上回る多数の参加があり、関心の高さ・被害者の多さを痛感しました。

身の回りの有害化学物質による健康被害に関する経験や情報を交換するとともに、関連する専門家の協力のもとに健康被害者への支援、有害化学物質による生活環境汚染と健康被害の予防活動を推進する会に、多くの方の理解と協力を呼びかけます。

「京都カナリヤ会」のホームページ <http://www.kyotokanariya.com/>

FJCネット・京都

福祉住環境コーディネーターをご存知ですか？

介護保険制度導入の前年、平成11年から東京商工会議所主催で開始され検定を行っています。

高齢者や障がい者に対して住みやすい住環境を提案するアドバイザーです。住宅に関わる問題点やニーズを発見し、具体的なプランニング・施工方法・予算などを提示する新しい専門職です。

建築・医療・福祉の専門家から主婦・学生の方まで様々な分野の方が資格を持って活動しています。

京都でも『福祉住環境コーディネーター ネットワーク 京都 (FJC ネット・京都)』を設立して活動しています。

毎月1回定例会を開いて情報交換と研修を行っています。

今日は下記の通りです。

日 時：4月18日（金）18：30～20：30

場 所：ひと・まち交流館 京都 第1会議室（下京区河原町通り五条下がる）

内 容：研修会 講師：阿部未知さん（ケアマネージャー・看護師）

朝日新聞週間情報誌（水曜日）あいあいAI 京都掲載「介護の現場から」執筆者

テーマ「介護の現場から」

※ 懇談会形式で開催します。質疑応答の時間も設けますので一般参加者大歓迎です。

参加費：1,000円



すこやか&スマイルへのご意見・ご感想をお待ちしています。

また、こんなことが知りたい、こんな特集をして欲しい等ご要望もお待ちしています。

〒601-8335 京都市南区吉祥院砂ノ町16

FAX：075-202-8455 E-mail：care-life@zeus.eonet.ne.jp

